

これからの梨の栽培管理について (第3号)

令和4年4月12日
富山県富山農林振興センター
なのはな農業協同組合

1 これからの防除について

黒星病の感染源の一つである落葉からの子のう胞子は、落葉処理園地、モニタリング調査(人為的に落葉をかきあつめ胞子を飛散しやすくしている調査)とも、3月からの飛散量は少ない状況です。

なお、近日の高温の影響により開花が早くなっていることから、自園地の生育状況を確認して、今後とも適期防除(間隔の遵守、雨前散布)に努めてください。

☆開花期前後の防除は、黒星病の発生を左右する年間を通じて最も重要な防除です！！
☆防除は「降雨前」、SSは「低圧、低速、全列走行」を心掛け、散布ムラがないように努めてください。

回数	散布月日	薬剤名と希釈倍数	散布量	主な対象病害虫	防除実施日 (自己記入)
4	4月13～15日 (開花直前)1分咲き	スコア顆粒水和剤 4,000倍 ベルコートフロアブル 1,500倍	300 ㍓	黒星病、赤星病 輪紋病、黒斑病、 うどんこ病	
5	4月22～24日 (落花直後)	デランフロアブル 1,000倍	300 ㍓	黒星病、赤星病、心腐 れ症(胴枯病菌)	
特	4月25日～ 4月30日頃	コンフューザーN 150本/10a		リンゴコカクモンハマキ、モモン クイガ、ナシヒメシクイ	
6	5月1～3日 (落花10日後)	オーシャイン水和剤 4,000倍 トレノックスフロアブル 500倍 ハチハチフロアブル 2,000倍	300 ㍓	黒星病、赤星病、心腐 れ症(胴枯病菌) ニセナシサビダニ、アブラムシ 類、クワコナカイガラムシ	
7	5月9～11日 (小豆大)	ユニックス顆粒水和剤 ⁴⁷ 2,000倍 トレノックスフロアブル 500倍 サイアノックス水和剤 1,000倍	300 ㍓	黒星病、赤星病、黒斑病 心腐れ症(胴枯病菌) シクイムシ類、ハマキムシ類 アブラムシ類	
8	5月18～20日	デランフロアブル 1,000倍	300 ㍓	黒星病、赤星病、輪紋病 心腐れ症(胴枯病菌)	
9	5月27～29日	ベルコートフロアブル 1,500倍 ファルコンフロアブル 6,000倍	300 ㍓	黒星病、輪紋病、 うどんこ病 ハマキムシ類、ケムシ類	

- ①ハマキムシ類の発生が多い園では4回目の防除にサムコルフロアブル10(5,000倍 年間3回まで)を混用してください。また、8回目のデランフロアブルにカスケード乳剤(2,000倍)を混用してください。なお、3回目の防除にサムコルフロアブル10を混用した園地については、発生状況を確認して、発生がみられる場合は4回目の防除にもサムコルフロアブル10を混用してください。
- ②アブラムシ類の発生(葉を内側に巻いて加害する)が見られたら、早めにアドマイヤー水和剤(2,000倍)を散布してください。
- ③カメムシ類の常発園、シクイムシ類多発園ではアクタラ顆粒水溶剤(2,000倍)を散布してください。
- ④散布に当たっては、希釈倍数や対象病害虫など、農薬容器のラベルを必ず確認してください。また、周囲の他作物や住宅等への飛散防止に努めてください。特に通学路に面した園地では、登下校時の時間帯を考慮して散布してください。
- ⑤天候等の都合により防除間隔が10日以上空かないよう十分注意してください(10日以上空くと農薬の残効が切れ黒星病の感染リスクが高まります)。雨天が予想される場合は、雨前散布を心掛けてください。
- ⑥黒星病の芽基部病斑は見つけ次第、早急に切除して園外に持ち出し、適正に処分してください。

2 梨の開花について

4/11 現在の各品種の開花予想は右表のとおりですが、近日の高温の影響により開花は早くなる可能性があります。

令和4年予想（4月11日現在）

品種名	満開日（前年比）
幸水	4月19日（8日遅い）
豊水	4月15日（9日遅い）
あきづき	4月17日（9日遅い）
新高	4月12日（9日遅い）

※今後の気温が平年並みに推移した場合

3 人工受粉の留意点

気温が低い時間帯や降雨中の人工受粉では、花粉が発芽しなかったり、めしべに付かなかったりする恐れがあります。日中の温かい時間帯に受粉を行いましょう。なお、受粉後3時間以内に降雨があった場合や、受粉後に霜害を受けた場合には受粉をやり直しましょう。

4 霜害対策

（1）気温の低下軽減

低温層の発生位置を出来るだけ低くするため、草生栽培園では短く刈り、棚面付近の気温低下の軽減を図ってください。

（2）冷気の流れ込み防止

冷気が流入してくる方向にはネットを下ろす等、冷気の流入を防ぐよう努めてください。

（3）気象情報等の把握

霜注意報、予想最低気温等の把握に努めるとともに、梨園地低温警報メール（登録者のみ）の確認により、霜害発生リスクに備えましょう。

（4）燃焼法による防霜対策

降霜が予想される場合は、園地周囲のネットを下ろし、燃焼資材（灯油＋キッチンペーパー、または練炭）を用いて園内の温度上昇や空気の対流促進を図りましょう。なお、燃焼資材利用の際は、火災発生に十分注意してください。

5 1回目摘果作業の留意点

- 十分な結実が見込める場合は、満開 30 日後を目安に1回目の摘果を終了するよう作業を進めてください。
- 凍霜害による結実不良の恐れがある場合は、1回目の摘果作業は実どまりの状況や果形を十分確認した上で行ってください。
- 結実量が不十分な場合は、通常は摘果するような奇形果や傷果等も残し、新梢の過繁茂防止や、樹勢が強くなりすぎないように留意してください。

6 コンフューザーNは確実に設置しましょう！

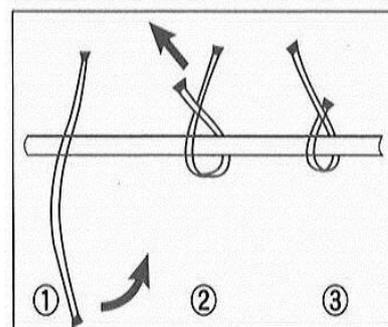
昨年、収穫期にシンクイムシ類の被害果実が発生した園地や、本年、開花期頃にハマキムシ類の被害が多かった園地では、今後も多発する恐れがありますので、**確実に「コンフューザーN」の設置をしてください。**

（1）設置方法（右図）

- ①設置本数：150 本／10 a（**設置本数が少ないと十分な効果が期待できません**）
- ②設置時期：4月26～30日頃
- ③設置間隔：約 2.6m間隔（3間植えの園地では**1樹当たり4～4.5本**を設置）

（2）設置上の留意事項

- ①ほ場の外周は多めに設置する（単独園や道路等に面している園では、外周の防風ネットを張り、成分の飛散を防止する）。
- ②ほ場内に未成木樹や間拔等で樹の植わっていない場所があっても、これらの場所を含めほ場全体に設置する。
- ③傾斜地では斜面上側を多めに、下側は少なめに設置する。
- ④周辺にモモやウメがある場合には、これらも含めて設置する。



梨棚の番線に巻きつけてから、一端を輪にくぐらせて固定してください（強く引っ張り固定すると端が切れる恐れがあるので、注意して下さい）。

図 コンフューザーNの設置方法